

## 御前崎小学校区

### 「災害に強いまちづくり」

#### 西側区

Q：災害が発生し町内会で人や家屋の被害状況を調べる際、家庭の安否が黄色いハンカチのようなもので確認できるようにしたらどうか。そうすれば町内会も安否の判断が容易だし、迅速な対応ができる。市内全戸に黄色いハンカチのようなものを配布してもらえないか。

A：よいアイデア。参考にさせてもらいたい。

#### 女岩区

Q：市民は津波が恐怖。防波堤のかさ上げ工事を早くやってほしい。工事の予定は？

A：現在の防波堤の高さはTP6.2で施工してある。現在県で防波堤の見直しをしていて旧相良町側から順次施工してきている。基本的には国の事業として要望している。現在マリパークはTP6.2で施工してあり、市でも港内の防潮堤工事を要望している。

#### 上岬区

Q：御前崎グランドホテルと旧サンホテル跡地の間は潮干狩りなどで観光客が一番訪れるところ。しかし階段がなく津波がおきたときに避難する経路がない。階段を作ってくれないか。

A：御前崎土木事務所へ市から要望したい。

#### 上岬区

Q：本部と各地区の無線交信について。9月1日の防災訓練で上岬区から本部までの無線が不通だった。高性能の無線機をつけてくれないか。

A：防災訓練で無線が不通という地域が上岬区以外にもあった。現在防災課で無線の見直しを行っている。早々に対処していきたい。

### 「御前崎の教育」

#### 下岬区

Q：平成19年5月18日の日付で大山区、下岬区、上岬区の町内会長連名で「灯光園西側の交差点は通学路になっているが信号待ちの際、子どもは待機場所がなく県道にはみだした状態で待っている。危険であるため改善してほしい」と要望書を出した。回答

はどうなっているのか。

A：現場も確認している。また、平成19年10月10日に「手すりを設置してもらえないか」との要望で建設課でガードパイプを設置した。市としても待機所は早急に対処したい。地権者の同意がないため施工できない状態。地元も協力してもらいたい。また、一方の道が県道であるため御前崎土木事務所との協議、公安委員会との協議があり課題がクリアできれば早急に対処したいと考えている。同意書など書類についても町内会で協力いただきたい。

下岬区

Q：法面に鉄パイプなどを使って待機所を作れるのではないか。

A：法敷地は幅も狭く、応急措置のような待機所となってしまう。しっかり交差点を改良しなければ土木事務所も地元も納得できない。市としても改良できるように検討していきたいと考えている。

西側区

Q：御前崎小学校南側の学童保育跡地前にある電気の引込み線がプラスチックのカバーで危ない。中部電力にも確認したが市の管理ではないかと言われた。もっと安全なカバーにした方がいいのではないか。

A：早速、現場を確認し対応させてもらう。

西側区

Q：マナーモデルのバッジは余分にいただけないのか。1つでは足りない。

A：必要であれば複数差し上げる。

西側区

Q：先日市役所を訪れた際、気持ちの良い挨拶をしてもらった。これからも続けてほしい。

A：職員もがんばっているがまだまだだと感じている。今後とも気持ちの良い挨拶ができるように努力していきたい。

「フリーテーマ」

広沢区

Q：環境基本計画作成について市としてISO14000などは取得しているのか？

A：昨年度環境基本条例を策定した。2 ヶ年かけて環境基本計画を策定しようと取り組んでいる。市としてISOなど取得する予定はない。

市のゴミの分別の状況はDランクで、このままだと保全センターでゴミを引き取ってくれないという状態だった。ペットボトルの分別などでしだいに良くなってきたが、現状ではISOという段階ではない。さらに行政で指導していきたい。地区の役員さんとも協力し改善されればISOの取得も考えていきたい。

#### 広沢区

Q：ブラジル人のゴミの分別が非常に悪い。分かりやすいパンフレットを再度配布してほしい。読みやすい字で絵を使ったりしてゴミステーションに貼り出せるようなものにしてほしい。

A：市内の各戸に家庭ゴミカレンダーを配布し、その中に英語、ポルトガル語、中国語3ヶ国語を載せている。行政ガイドブック（ポルトガル語）にもゴミ出しのルールを記載している。保全センターのものに関しては牧之原市と2市で協力して作成した。行政としてもさらに考えていく。案があればご提案いただきたい。

#### 西側区

Q：御前崎には上から下に移動する手段が港坂しかない。市道長山線を拡幅するという話があったが実現されていない。現状計画はどうか。

A：地権者の了解を経てやらなくてはいけない道路だと感じている。前向きに検討する。

#### 西側区

Q：市道長山線のガードレールが腐食していて危険。拡幅工事が先になるのであれば町内会でガードレールの取替え工事を要望したい。

A：御前崎プラスチック（株）から県道佐倉御前崎港線までの区間を合併後に調査、設計まで行った。しかし高低差が大きく、道路構造令に合致しないため国庫補助事業で採択できない。平成21年度から市の単独事業で現況の道路を拡幅する計画で22年度以降から工事着工を考えている。ガードレールの腐食、水路の損傷などと合わせて拡幅改良していきたい。

#### 下岬区

Q：御前崎市が県下で1位になっているものなどを広報誌で挙げてみてはどうか。県で1

位、全国で1位など数字で表したりすれば市の広告になる。御前崎市が県でも全国でも1番といったものを市民に伝えてほしい。御前崎市の良さを市民が再認識できる。

A：今後資料を集め広報誌で情報を伝えていきたい。

Q：市に事故米混入の一報から市長に報告するまで2時間かかっているがなぜか？

A：どのような製品で、どういったものが混入されていたのかという事実と過去の書類を紐解いたと同時に保護者やマスコミに正確な事実を伝えるために過去2年間の資料を全て確認したため2時間かかった。